

基金 ロゴマーク等使用規程

(目的)

第1条 この規程は、公益財団法人 風に立つライオン基金（以下、「基金」という。）の活動や存在意義についての関心を高め、周知を広めることを目的に、象徴としてロゴマークを定め、その使用について必要な事項を定める。

2 以下の各条は、前項のロゴマークに合わせ、又は単独で使用される基金の名義についても適用されるものとする。

(ロゴマーク等を使用できる者)

第2条 基金のロゴマークは別図に掲げるものとし、これを使用できる者は次のとおりとする。

- (1) 事務局、各種委員会、風の団、風に立つライオン・ユース等基金の会員組織
- (2) 基金が主催・共催・後援・協力・協賛する各行事及びその関係者
- (3) その他、理事長が適当と認める者

(ロゴマーク等の使用対象となる活動)

第3条 ロゴマーク等の使用対象活動は以下のものとする。

- (1) 基金活動に関連し、理事長が適当と認める事業の広報活動
- (2) その他、理事長が適当と認める活動

(ロゴマーク等の表示方法)

第4条 ロゴマーク等の表示方法は別紙「基金ロゴマーク等表示方法の手引き」に従うものとする。

(ロゴマーク等使用者の義務)

第5条 ロゴマーク等の使用者は、第1条に定める目的に反して、ロゴマークを使用してはならない。

2 第2条(3)に該当する者は、使用対象となる活動毎に、別紙2で定める使用申請書を事前に事務局へ提出し、許可を得なければならない。

3 ロゴマーク等使用者は、ロゴマーク等の使用について、基金の指導に従わなければならない。

(ロゴマーク等の使用期間)

第6条 ロゴマーク等の使用期間は、ロゴマーク等使用対象活動の期間内とする。

(ロゴマーク等の使用停止)

第7条 理事長は、第6条に定める使用申請書の内容に虚偽があった場合、その他、本規程に反する不適当な使用を発見した場合、使用者に対し、ロゴマーク等の使用停止を求めることができる。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は理事会の決議を経て行う。

2 理事長は、この規程を変更した場合、必要に応じ、関係者に対しその旨を通知するものとする。

附 則

この規程は、平成28年10月12日より実施する。(平成28年10月12日理事会議決)

別図

公益財団法人 風に立つライオン基金 ロゴ・マーク



▲
このサイズを最小に
特に文字はこれを最小の基準に
左右=25mm



▲
このサイズより大きく使用する場合は
この要素を基本にしてください
左右=55mm



公益財団法人
風に立つライオン基金
THE LION STANDING AGAINST THE WIND FUND FOUNDATION SINCE 2015



▲
モノクロのトーンの基本



▲
4Cの基本

基金ロゴマーク等表示方法の手引き

1. ロゴマークのデザインについて

ロゴマークにおいて、ライオンは、「誰か」の為に、「何か」を守る為に艱難辛苦に立ち向かう者を表現し、背景の円は「和（平和）」「いのち」「地球」「未来」を象徴しています。

2. ロゴマークの表示方法

- 1) ロゴマークは別図の基本デザインを均等に縮小又は拡大して使用してください。
- 2) ロゴマークを直結させ、パターンとして利用する使い方は認められません。
- 3) ロゴマークを縮小して使用する場合、デザインが潰れるような過度の縮小は避けてください。
- 4) ロゴマークを拡大して使用する場合、デザインが切れるような過度の拡大は避けてください。
- 5) ロゴマークの上に他の図形、文字等を重ねる使い方はみとめられません。

3. ロゴマークの文字表示について

ロゴマークに入っている文字はロゴマークと一体のものであり、文字を削除したり、他の文字を加えたりする行為は認められません。

4. 公益財団法人 風に立つライオン基金の表記について

基金の名義を印刷物やホームページ上等に表記する場合は以下に従ってください。

- 1) 「公益財団法人」と「風に立つライオン基金」の間を半角程度空けて使用してください。
- 2) 使用フォントについては、基金名義以外の使用文字と同じフォントを使用して頂く限りは、特に制限を設けませんが、単独で使用される場合には「ゴシック体」の使用を推奨します。

以上

別紙2

公益財団法人 風に立つライオン基金 ロゴマーク等使用申請書

年 月 日

公益財団法人 風に立つライオン基金 理事長殿

申請者：

所在地：

代表者：

印

ロゴマーク使用申請について

「基金ロゴマーク等使用規程」第5条第2項に基づいて、貴財団ロゴマーク等の使用を申請します。尚、これを使用するにあたっては、同規程の各条項を遵守することを約束します。

使用対象活動について

使用方法について

使用期間： 年 月 日 ～ 年 月 日

本件連絡先

担当者名： _____

Eメール： _____

電話：()